

2014. 7. 2 (水)

# 業務用無線LAN装置

## 低価格品で中国開拓

ビーム  
アイシステム

システム開発のアイビ  
システム(新潟市)は、  
低価格の業務用無線LAN  
N(構内情報通信網)シ  
ステムを開発。今秋を  
めに中国で発売する。通  
信インフラが整備された  
日本国内では需要が低い

ものの、同分野が未発達  
な中国では需要があると  
見込み、台湾や空港など  
への採用を働きかける。  
無線LANで構成する  
ネットワークは一般的に  
基地局が中心となり、個  
々の端末は基地局とのみ  
通信する。アイビシス  
テムが開発したシステム  
は基地局だけでなく、個  
々の端末間でもデータを  
送受信するのが特徴。  
これにより、基地局に  
障害が発生した場合でも  
端末間での通信ができ

る。敷地が広大な一方で、  
通信に途切れにくさが求  
められる台湾や空港、工  
場の監視などでの採用を  
見込む。

同様の製品は米社など  
が手がけるが、導入費用  
は1台当たり30万円程度  
するという。アイビシ  
ステムは機器を中国で生  
産することなどで生産コ  
ストを削減、価格を12  
13万円に抑えた。

ここ1年ほど中国国内

で実証実験を続けてきた 催中の科学技術展不会に 中国国内での正式販売に  
が、中国のハルビンで開 招待されたことを受け、 つなげる。